

《亀の子隊の活動のイメージ》

H. 17. 09 (H22. 05全面改訂)

<p>自然＝西の浜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三河湾と伊勢湾に面する ・赤石山系の水脈が地下を通る ・三河港入り口～中山水道 ・冬の伊吹おろし ・豊富な植物が生息 ・投げ釣りのメッカ 	<p>歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製塩が行われていた。 ・製塩土器の遺跡が現存 <hr/> <p>生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海草・木ぎれは燃料として使う ・海草は畑の肥料にもなった。 ・地引き網が盛んに行われた。
---	--

昭和34年伊勢湾台風により大きな被害＝堤防・防砂林が築かれる
 ↓ 海から陸へ生活圏が移動
 西山地区へ開拓移住が始まり、荒れ地が開拓される

海に対する意識の低下

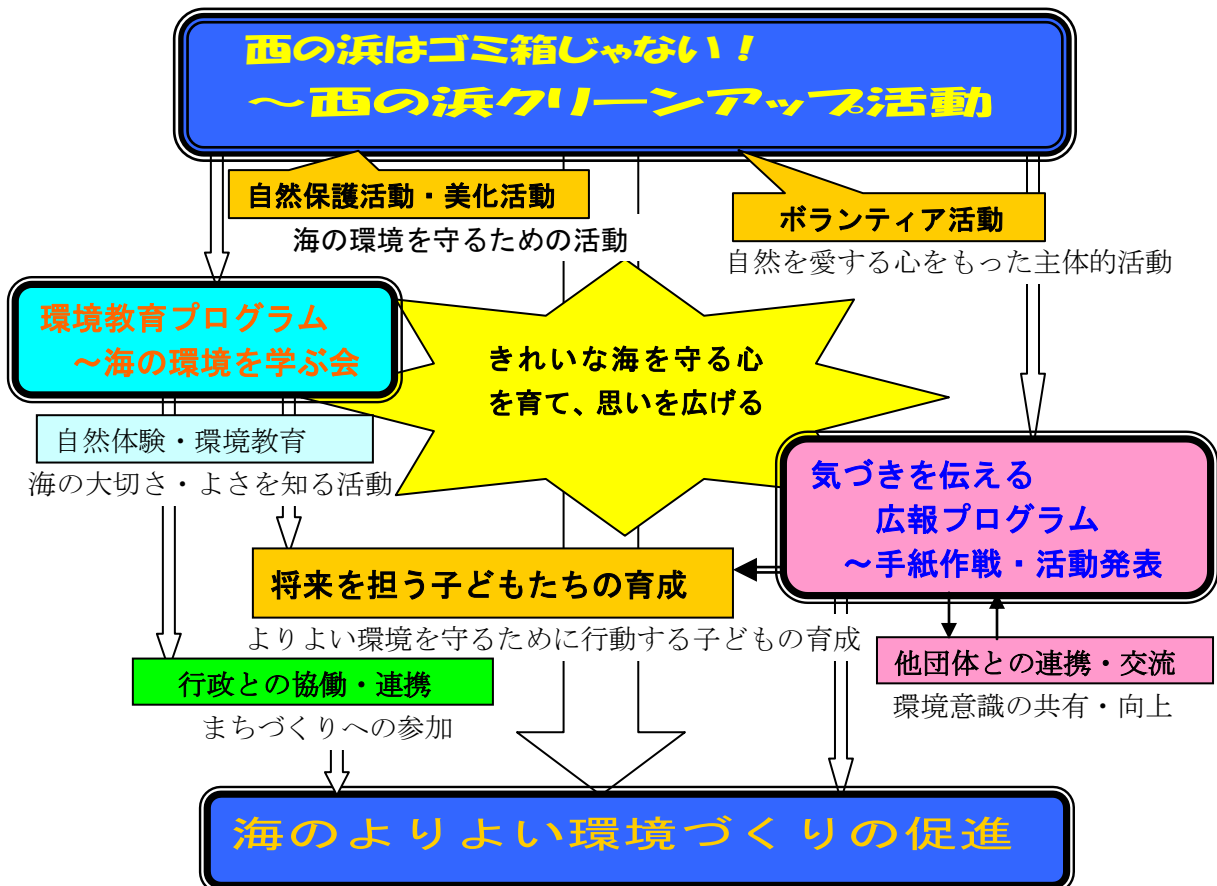
昭和43年豊川用水が完成＝本格的な農業へ進展

↓
 海から生活が離れる



高度成長期時代
 海辺の環境の悪化

平成10年 西の浜の活動が始まる



人々が集い、大切に作る里浜づくりの活動推進
 市民・地域社会の共有財産としての海辺の文化の創造